

<単元>世界のさまざまな地域の調査 (教科書 地理p.115~p.126)

<めあて> 自分が興味や関心をもった国や地域について、調査テーマを決めて調べよう。

「第2章 世界各地の人々の生活と環境」や「第3章 世界の諸地域」の学習を終えて、自分が興味や関心をもった国や地域について、これまでの学習を生かして調べてみましょう。

調査する国や地域

1 ウェビングマップを作り、調査テーマを決めよう

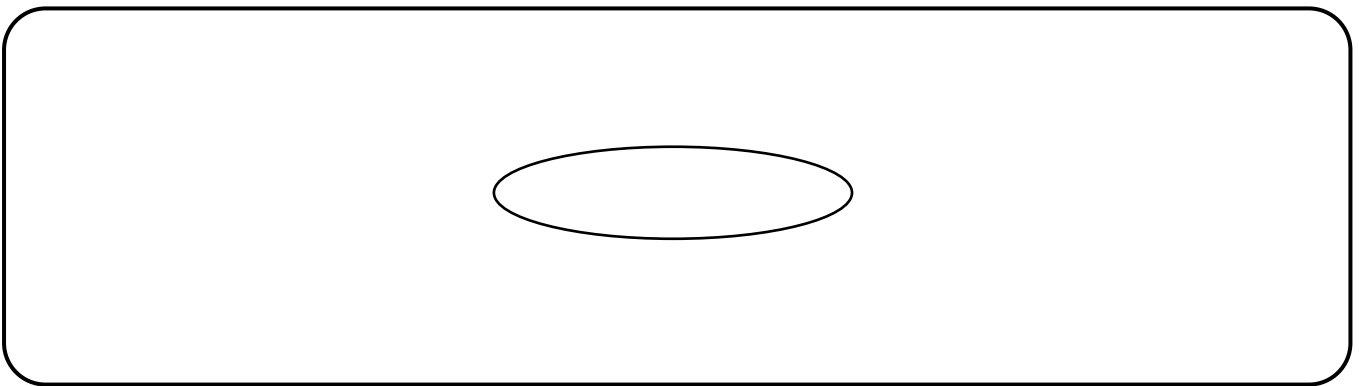
興味や関心をもった国や地域の特色を調べるときには、下の表の視点に注目すると調べたいことがはっきりとしてきます。

自然環境	人口	資源・エネルギーと産業	他地域との比較・結びつき	生活・文化
・面積 ・位置 ・地形 ・気候 ・環境問題 ・環境保全 など	・数 ・主な都市 ・変化 ・分布 ・出生率と死亡率 ・密度 ・民族構成 など	・主な鉱産資源 ・資源の自給率 ・発電量の内訳 ・主な産物と産地 など	・貿易額 ・貿易額や貿易相手国 ・貿易品目の変化 ・主な工業地帯・地域 など	・衣食住 ・行事 ・祭り ・宗教 など

興味や関心をもったところから、ウェビングマップを作り、調べるテーマをしぼりこみましょう。

調査テーマは「なぜ…なのか」「どのように…したのか」といった疑問の形にしてみましょう。

★ウェビングマップの作り方、調査テーマ例については、教科書117ページを参考にしましょう。



調査  
テーマ

2 仮説を立てよう

「なぜ」という疑問(調査テーマ)に対して、自分なりに答え(理由)を考えましょう(仮説を立てる)。仮説を立てると、何を調べたらよいのかがはっきりし、調べる計画が立てやすくなります。(必要に応じて仮説を増やしてもかまいません)

仮説1	
仮説2	

### 3 調査計画を立てよう

調査テーマについての自分の仮説が正しいかどうかを調べるために、調査する項目と調査の方法を考え、調査計画を立てましょう。

★調べる計画については、教科書119ページを参考にしましょう。

調査テーマ		
仮説 ①	調査 項目	
仮説 ②	調査 項目	
調査方法		

### 4 調査テーマについて調べ、まとめよう

教科書や地図帳、資料集、インターネットを活用して調べ、レポートにまとめましょう。

★調べたことをまとめる例については、教科書123ページを参考にしましょう。

--

## &lt;単元&gt; 第3章 中世の日本

(教科書 歴史p.63~p.95)

<めあて> 鎌倉・室町時代に、どのように武家政権が成立し、展開されていったのかを調べよう。

1 教科書 p.66~p.71を参考にして、鎌倉幕府の成立についてまとめた下の文中の( )の中に、言葉を入れよう。

10世紀になると、都や地方で( )が成長し始めた。成長した武士の中で有力だったのが( )と( )である。

1156年には、朝廷内の皇族や貴族の対立から、京都で( )の乱と( )の乱が起こった。この争いが武士の戦いによって決着したことから、武士は( )の中でも力を持つようになり、( )は、武士として初めて太政大臣となった。

その後、源頼朝は、弟の( )とともに、平氏を滅ぼし、( )幕府を開いた。頼朝は、征夷大將軍に任命され、將軍に忠誠をちかった武士は( )と呼ばれた。將軍と武士は( )と( )の主従関係で結ばれた。

2 教科書 p.76~p.79を参考にして、鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立についてまとめた下の文中の( )の中に、言葉を入れよう。

13世紀になると、チンギス・ハンが( )帝国を建国し、孫のフビライ・ハンが国名を( )と改めた。フビライは、1274年の( )の役と1281年の( )の役の二度にわたって日本を攻めてきた。しかし、執権の( )の命令を受けた御家人の活躍や暴風雨により大損害を受け、引きあげていった。

元を追い返すことはできたものの、元の襲来に備えた( )の生活は苦しくなった。幕府への反感が高まり、( )天皇や御家人の足利尊氏らが幕府を滅ぼした。

鎌倉幕府を倒した後、( )中心の新しい政治を始めたが、武士の不満が高まり、2年でくずれた。

1333年、足利尊氏が征夷大將軍に任命され( )幕府を開いた。尊氏は、全国の武士をまとめるために、( )の権限を強めた。

3 「第2章 古代までの日本」と「第3章 中世の日本」の二つの単元に関わって、下の表の①～④の項目について、箇条書きでまとめ、二つの時代について比較してみましょう。また、比較した表を基に中世がどのような時代であったのかをまとめましょう。

★教科書38ページ～87ページを参考にしましょう。

	古 代 (飛鳥時代～平安時代)	中 世
① 政治の動き		
② 社会の様子		
③ 外国との関係		
④ 文化の特色		



## &lt;単元&gt; 第3章 中世の日本

(教科書 歴史p.63~p.95)

<めあて> 鎌倉・室町時代に、どのように武家政権が成立し、展開されていったのかを調べよう。

1 教科書 p.66~p.71を参考にして、鎌倉幕府の成立についてまとめた下の文中の( )の中に、言葉を入れよう。

10世紀になると、都や地方で( 武士 )が成長し始めた。成長した武士の中で有力だったのが( 源氏 )と( 平氏 )である。

1156年には、朝廷内の皇族や貴族の対立から、京都で( 保元 )の乱と( 平治 )の乱が起こった。この争いが武士の戦いによって決着したことから、武士は( 政治 )の中でも力を持つようになり、( 平清盛 )は、武士として初めて太政大臣となった。

その後、源頼朝は、弟の( 源義経 )とともに、平氏を滅ぼし、( 鎌倉 )幕府を開いた。頼朝は、征夷大將軍に任命され、將軍に忠誠をちかった武士は( 御家人 )と呼ばれた。將軍と武士は( 御恩 )と( 奉公 )の主従関係で結ばれた。

2 教科書 p.76~p.79を参考にして、鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立についてまとめた下の文中の( )の中に、言葉を入れよう。

13世紀になると、チンギス・ハンが( モンゴル )帝国を建国し、孫のフビライ・ハンが国名を( 元 )と改めた。フビライは、1274年の( 文永 )の役と1281年の( 弘安 )の役の二度にわたって日本を攻めてきた。しかし、執権の( 北条時宗 )の命令を受けた御家人の活躍や暴風雨により大損害を受け、引きあげていった。

元を追い返すことはできたものの、元の襲来に備えた( 御家人 )の生活は苦しくなった。幕府への反感が高まり、( 後醍醐 )天皇や御家人の足利尊氏らが幕府を滅ぼした。

鎌倉幕府を倒した後、( 天皇 )中心の新しい政治を始めたが、武士の不満が高まり、2年でくずれた。

1333年、足利尊氏が征夷大將軍に任命され( 室町 )幕府を開いた。尊氏は、全国の武士をまとめるために、( 守護 )の権限を強めた。

3 「第2章 古代までの日本」と「第3章 中世の日本」の二つの単元に関わって、下の表の①～④の項目について、箇条書きでまとめ、二つの時代について比較してみましょう。また、比較した表を基に中世がどのような時代であったのかをまとめましょう。

★教科書38ページ～87ページを参考にしましょう。

	古 代（飛鳥時代～平安時代）	中 世
① 政治の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天皇や貴族が中心になって政治を行っていた。</li> <li>・律令政治に基づいて、全国を支配する仕組みが細かく定められた政治が行われていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府がつくられ、武士が中心になって政治を行っていた。</li> <li>・幕府の政治制度を整備し、武士による政治の仕組みを整えた。</li> </ul>
② 社会の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6歳以上のすべての人々に口分田が与えられた。</li> <li>・人々は、さまざまな税（租・調・庸・雑徭・兵役など）を納める義務を負っていた。</li> <li>・鉄製農具の広がりや耕地の整備によって農業の生産力は向上したが、人口の増加によって口分田が不足していった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業技術が進歩し、二毛作が行われていた。</li> <li>・人々は、荘園の領主や地頭に年貢を納めていた。</li> <li>・農村では、農業用水路の建設や管理、森林の利用や管理などについておきてを定めた。</li> </ul>
③ 外国との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遣隋使や遣唐使を派遣するなど、積極的に朝鮮半島や中国と交易をもち、進んだ制度や文化を取り入れようとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府は、日明貿易や日朝貿易によって、刀や銅、硫黄、漆器などを輸出し銅銭や生糸、書画などを輸入し、経済や文化は大きな影響を受けた。</li> </ul>
④ 文化の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6世紀後半には、朝鮮半島や中国から進んだ文化を取り入れ、仏教文化が栄えた。</li> <li>・8世紀になると、中国の制度や文化を取り入れようと、遣唐使を派遣し、仏教と唐の文化の影響を強く受けた国際的な文化が栄えた。</li> <li>・894年の遣唐使廃止により、その後、日本の風土や生活、日本人の感情にあった文化が生み出された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉時代には武士や民衆の力が伸びてくる中で、親しみがあり、力強い文化が生まれた。</li> <li>・14世紀後半には、大陸の文化の影響を受けて、貴族の文化と武士の文化を合わせた新たな文化が生まれた。</li> <li>・15世紀後半には、武士を担い手とする簡素で気品のある文化が生まれた。</li> </ul>



この時代は、武士が台頭し、政治の実権が天皇や貴族から、武士に移っていくなかで、政治の仕組みが整えられ、武士による土地の支配が進んでいった。それにともなって、村を中心に民衆の団結が強まり、農業やかんがい技術、貨幣経済、商業などが進歩し、経済活動が活発になっていった。